

2017(平成29)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）
法律学科・経済学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科（心理）
【選択科目：世界史 B】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2017(平成29)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

法律学科・経済学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理) 【世界史B】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次のA～Cの各文を読み、後の問いに答えなさい。

A 古代ギリシア史は、ポリスの発生、発展、没落の歴史の側面をもつ。彼らは長い暗黒時代をへて、前8世紀ころから、各地で有力者である貴族の指導のもとに集住(シノイキスモス)して都市をたてた。これが①ポリスであり、その市域の中心にはアクロポリスがあった。それぞれのポリスは独立の都市国家であった。古代のギリシア人は統一国家をつくることはなかったが、共通の言語や神話、4年に1度開かれるオリンピアの祭典などを通じて、②同一民族としての意識をもっていた。ポリスの住民は自由人の市民と、これに隷属する奴隷からなり、市民には貴族と平民の区別があった。当初は、少数の貴族が政治を独占する貴族政ポリスが一般的であったが、その後、軍事的に貢献することで発言力を高めた平民が参政権を主張して、③ポリスにおける民主政へのあゆみがはじまった。④アテネでは前5世紀なかばごろ、民主政が完成した。やがて、前431年、アテネを中心とする同盟とスパルタを中心とする同盟間で⑤戦争がおこり、ポリス社会は変質しはじめることになる。

問1 下線部①について、ポリスは、城壁で囲まれた市域と周囲の田園からなりたっていた。交易や集会、裁判などがおこなわれ、ポリスの政治・経済活動の中心であった市域の公共広場のことを何とよぶか。カタカナ3文字で答えなさい。(2点)

問2 下線部②について、古代ギリシア人は政治的には分立していたが、自分たちをヘレネスとよび、同一民族意識は強かった。他方、異民族に対しては何とよんだか。カタカナ5文字で答えなさい。(2点)

問3 下線部③について、民主政が典型的なかたちで出現したのはアテネであった。アテネの政治的変遷で、年代の古いものから順に正しく並んでいるのはどれか。記号で答えなさい。(2点)

ア. ソロンの改革 → クレイステネスの改革 → ペイシストラトスの僭主政
イ. ペイシストラトスの僭主政 → クレイステネスの改革 → ソロンの改革
ウ. ソロンの改革 → ペイシストラトスの僭主政 → クレイステネスの改革

問4 下線部④について、アテネで民主政を完成させた将軍は誰か。カタカナ5文字で答えなさい。(2点)

問5 下線部⑤について、前 431 年から前 404 年まで続いたこの戦争は、ポリス的社会が崩壊へと向かう契機となった。この戦争は何とよばれるか。カタカナ 6 文字で答えなさい。(2 点)

B バルト海沿岸を原住地とするゲルマン人は、ケルト人を西に圧迫しながら勢力を拡大していった。4 世紀後半、アジア系の騎馬民族フン人が黒海の北方からドン川を越えて西に移動してくると、西ゴート人は南下を始め、ドナウ川をわたって①ローマ帝国領内に移住した。それをきっかけに、ほかのゲルマン諸部族も大規模な移動を開始し、その後、約 200 年におよぶ②ゲルマン人の大移動がはじまった。この間、フン人も 5 世紀にパンノニア（現在のハンガリー地方）を中心に大帝国をたてたが、西ローマとゲルマンの連合軍に敗れ、崩壊した。この混乱のなか、西ローマ帝国は 476 年、③ゲルマン人傭兵隊長に滅ぼされた。その後、④568 年に北イタリアに王国がたてられた。ゲルマン諸国家の大半が短命であったのに対し、建国後、領土を拡大し西ヨーロッパ世界形成に大きな役割を果たしたのは、⑤フランク王国であった。

問1 下線部①について、ローマ帝国は 96 年から 180 年までの五賢帝の時代が最盛期であった。その五賢帝のひとりで、ローマの最大版図を実現した皇帝は誰か。カタカナ 5 文字で答えなさい。(2 点)

問2 下線部②について、ユトランド半島からブリタニア島に移動し、七王国をたてた部族名を、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。(2 点)

ア. 西ゴート人 イ. ブルグンド人 ウ. アングロ＝サクソン人

問3 下線部③について、476 年に西ローマ帝国を滅ぼし王国をたてたゲルマン出身の西ローマの傭兵隊長は誰か。カタカナ 5 文字で答えなさい。(2 点)

問4 下線部④について、568 年に建国し、774 年にフランク王国に滅ぼされたこの王国名を、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。(2 点)

ア. ランゴバルド王国（ロンバルド王国） イ. ヴァンダル王国 ウ. 東ゴート王国

問5 下線部⑤について、481 年にクローヴィスがたてたフランク王国最初の王朝名を、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。(2 点)

ア. カロリング朝 イ. メロヴィング朝 ウ. カペー朝

C 中世の西ヨーロッパでは農業生産が増大した結果、余剰生産物の交換が活発になり、都市と商業がふたたびさかんになりはじめた。遠隔地貿易は、地中海商業圏を形成したが、一方、北海・バルト海を中心とした北ヨーロッパ商業圏もあらたに成立した。また、①これらの大商業圏を結ぶ内陸の通商路にも都市が発達し、定期市がひらかれた。中世都市は、商工業が発達すると、しだいに領主支配からの自由と自治を求めはじめた。11～12世紀以降、各地の都市はつぎつぎに自治権を獲得し、②自治都市になった。北イタリアの諸都市は、周辺の農村も併合し一種の都市国家として完全に独立した。

またドイツでは、皇帝から特許状をえて、諸侯と同じ地位にたつ自由都市（帝国都市）も生まれた。③これらの有力都市は同盟を結び、共通の利害のために共同で武力をもちいるなどして大きな政治勢力になった。これらの都市は周囲を城壁で囲み、そのなかで住民たちは封建領主から解放された。そのため④周辺の農民のなかには自由を求めて都市に流れこむものもあらわれた。また、⑤都市の大商人のなかには、莫大な富を蓄積し文芸の保護に努める一族もあらわれた。

問1 下線部①について、地中海と北海の両商業圏の中間に位置し、12～13世紀に定期市で繁栄したフランスの地方名を次の中から1つ選び、記号で答えなさい。（2点）

ア. ノルマンディー イ. アルザス＝ロレーヌ ウ. シャンパーニュ

問2 下線部②について、中世の自治都市で、自治運営の基礎になった組織が同業組合である。それを何とよぶか。カタカナ3文字で答えなさい。（2点）

問3 下線部③について、そうした都市同盟のひとつに北ドイツ諸都市のハンザ同盟がある。このハンザ同盟の盟主となった都市名を、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。（2点）

ア. ハンブルグ イ. リューベック ウ. ブレーメン

問4 下線部④について、中世末期、都市が発達するなかで生まれたドイツのことわざがある。空欄に漢字2文字を入れて、ことわざを完成させなさい。（2点）

問5 下線部⑤について、一族から教皇をだしたフィレンツェの大富豪名を、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。（2点）

ア. メディチ家 イ. フッガー家 ウ. ケネディー家

Ⅱ. 次の文を読み、後の問いに答えなさい。

イギリスは産業革命の結果、①良質で安価な工業製品を大量にヨーロッパ内外の市場に売りさばっていた。しかし、1870年代以降、世界的な不況やほかの工業国との競合に直面すると、新たな植民地の獲得に乗り出していった。1875年、保守党の〔 A 〕首相はスエズ運河会社の株式を買収して運河の経営権を握り、ロシア＝トルコ（露土）戦争にも干渉した。さらに、1880年代にエジプトを支配下においたイギリスは、1895年植民相になったジョゼフ＝チェンバレンのもとで、植民地との連携強化を図る一方で、1899年には南アフリカ戦争をおこした。この頃、国内では②社会主義運動がおこった。

フランスは、産業革命ではイギリスに遅れをとったが、1880年代から植民地拡大政策が実行され、インドシナや③アフリカに大植民地をつくりあげた。国内では、普仏戦争の敗北の結果、ドイツに対する報復感情を利用したブーランジェ事件やスパイ冤罪にとわれたユダヤ人にかかわる〔 B 〕事件などがおこり、政情は不安定であった。他方、労働運動では、④政党の指導ではなく、労働組合の直接行動によって革命をめざす運動もあらわれた。

ドイツでは、1888年、ヴィルヘルム2世が即位した。彼は、ドイツの資本主義が急速に伸張したのを背景に、⑤積極的な対外政策を追求し、やがてイギリスとの対立を深めた。国内では、ビスマルクの辞職によって社会主義運動もしだいに勢力をもちかえした。⑥その中心となった政党が、1912年の選挙で、議会第一党に躍進した。その過程で、革命によって資本主義を倒すのではなく、議会主義的改革や社会政策の改良によって社会主義を実現しようとする〔 C 〕らの修正主義があらわれた。

1898年のアメリカ＝スペイン（米西）戦争に勝利したアメリカは、⑦カリブ海・太平洋のスペイン領植民地を獲得し、海外進出の足場を築いた。1899年には、⑧中国での門戸開放原則の承認を各国に要求して、中国への市場進出をはかった。さらに、〔 D 〕大統領は、国内では革新主義を掲げ、反トラスト法を発動して大企業の市場支配を阻止する一方、対外的には帝国主義的政策を推進した。

こうした帝国主義の圧力にさらされた地域では、政治改革や社会・経済の近代化を推進して、外圧に対抗して自立しようとする⑨メキシコ革命などがおこった。

問1 文中の空欄A～Dに入れるのに適切な人名を答えなさい。（各3点）

問2 下線部①について、先進工業国としてイギリスが世界経済を支配した状態は何と呼ばれたか。空欄に漢字2文字を入れて答えなさい。（2点）

問3 下線部②について、1884年にバーナード＝ショーやウェッブ夫妻といった知識人を中心に結成された社会主義の団体名を答えなさい。（2点）

問4 下線部③について、1881年にチュニジアを保護国にしたフランスは、アフリカを横断する政策をとったが、縦断政策をとるイギリス軍と1898年にスーダンで衝突・対立した。このできごととして適切なものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. ファショダ事件 イ. タンネンベルクの戦い ウ. 血の日曜日事件

問5 下線部④について、議会主義を否定し、ゼネストを中心とした労働組合の直接行動によって社会革命をめざすこうした運動は何とよばれるか。次の中から適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. シオニズム イ. サンディカリズム ウ. チャーティスト運動

問6 下線部⑤について、ヴィルヘルム2世のとった積極的な帝国主義政策は何とよばれたか。空欄に漢字2文字を入れて答えなさい。(2点)

問7 下線部⑥について、この政党名を空欄に漢字4字を入れて答えなさい。(2点)

問8 下線部⑦について、スペイン領からアメリカへ割譲された地域として、適切でないものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. フィリピン イ. プエルトリコ ウ. ニュージーランド

問9 下線部⑧について、アメリカの中国市場への割り込みをねらった門戸開放原則をうちだしたアメリカの国務長官名を、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. ジョン＝ヘイ イ. マッキンリー ウ. ウィルソン

問10 下線部⑨について、1910年の武装蜂起にはじまり、1917年の民主的憲法の制定で終結したメキシコ革命を推進した人物として適切でない人物を、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. マデロ イ. カストロ ウ. サパタ

Ⅲ. 古代のインドに関する次の各文を読み、下線部の正誤を判断して、誤っているものの番号と正しい語句を答えなさい。(番号1点、語句2点)

問1 西北インドでは、南アジア最初の都市文明である①インダス文明が栄えた。代表的な都市遺跡としては、②ウルやモヘンジョ＝ダロ（モエンジョ＝ダーロ）などがある。また、ペルシア湾や③メソポタミアとの海上交易もおこなわれていた。こうした文明を担っていたのは、④ドラヴィダ系の住民だと推定されている。

問2 前1500年ごろから、アーリヤ人がインド西北部の①パンジャーブ地方に進出し、住民を征服した。彼らは自然現象を神として崇拝し、讃歌を捧げており、これらが②『リグ＝ヴェーダ』としてまとめられた。これをまとめた司祭者を③クシャトリアと呼んだ。前1000年以降、アーリヤ人の階層化が進み、④ヴァルナと呼ばれる4つの身分が成立した。

問3 人間の内面を思索する新しい思想として、①ウパニシャッドという哲学書が編纂された。そこでは輪廻転生、業、解脱といった考え方が提示され、宇宙の根本原理としての②梵と個人の根源としての我の同一を悟ることなどが唱えられた。また、ヴァルダマナ（マハーヴィーラ）は③ゾロアスター教を唱え、厳しい苦行や不殺生などで解脱ができると説いた一方で、④ガウタマ＝シッダールタは仏教を開き、八正道の実践によって解脱にいたると主張した。

問4 前317年ごろ、マガダ国のチャンドラグプタが①マウリヤ朝をたてた。第3代の②アショーカ王は仏教への帰依を深め、仏典結集を支援する一方、人間の普遍的な倫理であるダルマを説いて、国家の安定をはかった。1世紀に入るとイラン系の住民がインドに侵入し、③クシャーナ朝をたてた。カニシカ王の時代には東西交易で発展し、ヘレニズム文化の影響を受けた④アマルナ美術が開花した。

IV. 次の文を読み、後の問いに答えなさい。

①ムハンマドの死後、イスラームの共同体であるウンマの指導者として〔 A 〕が選ばれ、預言者の後継者となった。第3代〔 A 〕が暗殺されて、第4代〔 A 〕にアリーが選ばれると、シリア総督だったウマイヤ家のムアーウィヤがアリーと対立し、結果的に勝利したムアーウィヤがダマスクスを都とする②ウマイヤ朝をひらいた。他方、アリーを支持する党派はウマイヤ朝に対する反体制運動をおこない〔 B 〕派とよばれるようになった。一方、〔 B 〕派に同調しない多数派は〔 C 〕派と自称するようになり、ウマイヤ朝と、その後継王朝であり、③バグダードを都としたアッバース朝で地位を確立した。

問1 文中の空欄A～Cに入る適語を答えなさい。ただし、文中の同一記号は同一語を表している。(各2点)

問2 下線部①について、ムハンマドが弟子とともに迫害から逃れて、622年にメディナに移住したことを何と呼ぶか。(2点)

問3 下線部②について、732年におこなわれた、この王朝とフランク王国との戦いの名前を答えなさい。(2点)

問4 下線部③について、751年におこなわれた、この王朝と唐軍との戦いの名前を答えなさい。(2点)

V. 次の史料は、中華民国建国時の宣言文である。この史料を読み、後の問いに答えなさい。

中華民国建国の最初にあたって、私〔 A 〕は不徳の身でありながら臨時大總統の任を受けました。日夜おそれ戒め、国民の期待を裏切ってしまうのではないかと心配しています。そもそも、中国の専制政治の毒は、この二百年来ますます甚だしくなってきましたが、ひとたび国民の力でもってこれを倒して除去しました。①事がはじまってわずかに数十日ですが、光復^{*1}した省はすでに十余省にもなっています。有史以来、このように速やかに成功したことはかつて無かったのです。(中略) 私の考えをあえてさらけ出し、国民のために告げようと思います。すなわち国家の大本は人民にあるのであり、②漢・満・蒙・回・蔵の諸民族が住んでいる地を合して一国となし、これはすなわち、漢・満・蒙・回・蔵の諸民族を合して一つの民族とすることであり、このことを民族統一と言うのです。(中略) ③かつて清朝はあえて中央集権を実施しようとして、ついに偽りの立憲制を実施しようとしてしました。(中略) 満清時代は立憲の名を借りて、④実際には財物を募り集めようとし、雑捐^{*2}は度を超してひどく、民は安んずることがありませんでした。(中略)

臨時政府成立以後、まさに文明国が尽くすべき義務を尽くし、その上で文明国がまさに享受すべき権利を享受せんことを期待します。満清時代の国辱的なふるまい、および⑤排外の心は努めて洗い流して除去し、我が友邦とますます仲睦まじく、平和主義を堅持し、国際社会において重んじられるようにし、かつまた、世界をだんだんと大同に向かわせるようにし、順序に従って進め、幸運を頼みとしない。⑥対外方針はまさにこのようであります。(下略)

* 1 光復 ここでは清朝からの独立のこと。

* 2 雑捐 さまざまなものやサービスに課された税金。

〔出典：歴史学研究会編『世界史史料9 帝国主義と各地の抵抗Ⅱ 東アジア・内陸アジア・東南アジア・オセアニア』岩波書店、2008年〕

問1 文中の空欄Aに入るのに適した人名を答えなさい。(2点)

問2 下線部①について、1911年10月に辛亥革命の発端となった蜂起がおきた場所として適切なものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. 西安

イ. 南京

ウ. 武昌

エ. 広州

問3 下線部②について、空欄Aの人物は、辛亥革命以前は清朝を打倒し、漢民族の独立をめざす「民族の独立」を主張していた。この考えを含む、空欄Aの人物が提唱した理論を何と呼ぶか。空欄に漢字2字で答えなさい。(2点)

問4 下線部③について、義和団事件以降、清朝がすすめた近代化改革を光緒新政と呼ぶが、この内容として適切でないものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. 科挙を廃止した。

イ. 洋務運動を展開した。

ウ. 憲法大綱を發布した。

エ. 内閣制度を導入した。

問5 下線部④について、このことの事例として、清朝が民営鉄道を国有化して、これを担保として外国から借款を得ようとしたことが挙げられるが、これに反対して、外国から鉄道や鉱山などの利権を奪い返すことを目的として展開された運動を何と呼ぶか。空欄に漢字4字で答えなさい。(2点)

問6 下線部⑤について、清朝時代の代表的な排外運動に義和団事件があるが、この事件の結果結ばれた条約の内容として適切なものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

ア. 朝鮮の独立を承認し、清朝の宗主権を否定した。

イ. 外国軍の北京駐留を認めた。

ウ. 広州など5港の開港や香港島の割譲を認めた。

エ. 外国公使の北京駐在やキリスト教の伝道の自由を認めた。

問7 下線部⑥について、中華民国の外交に関する次の各文の正誤を判断し、正しければ○、誤りを含んでいれば×と答えなさい。(各1点)

(1) 袁世凱政権は、山東省のドイツ権益の継承などを内容とする21か条の要求を日本から提出され、そのほとんどを受け入れた。

(2) パリ講和会議の決定に反発した学生たちが、北京で三・一運動を展開した。

(3) コミンテルンの支持を受けた陳独秀らが、中国国民党を組織した。

